



北九州市新成長戦略

～リーディングプロジェクトの取組状況～

I 地域企業が元気に活動し続ける環境整備



11

工業用水道料金の値下げ（平成26年4月）

より使いやすい工業用水が企業の皆様を支援します

○主な取組状況

○料金値下げ

- ・政令市の工業用水道事業で 一番の低料金を実現

○二部料金制の導入

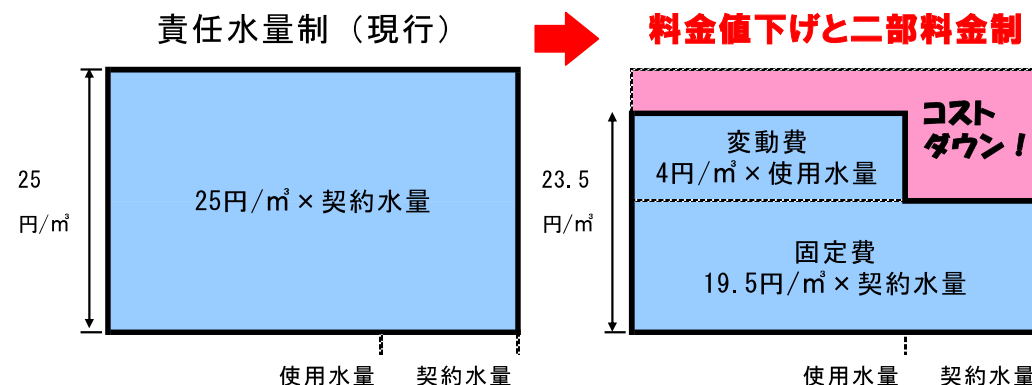
- ・使用水量に応じた料金体系「二部料金制」を導入

○基本料金の特例制度（既存制度）

- ・適用対象の場合、最大で5年間基本料金を5円減額

契約水量	現行	改正
300m ³ /日以上	25円	23.5円 （基本料金19.5円＋基本使用料金4円）
300m ³ /日未満	40円	38円 （基本料金34円＋基本使用料金4円）

※料金は、1日1m³あたりの税抜料金です。



※料金は、契約水量300m³/日以上の場合です。

＜料金＞ 19.5円/m³＋使用料金

＜特例制度適用＞ 14.5円/m³＋使用料金

I 地域企業が元気に活動し続ける環境整備



12

2 中小企業の競争力向上 (地元製品のブランド化①)

○主な取組状況

新たな食のブランド『滋味五州』の立上げ

H25年4月～12月

- ・プロジェクトチーム（専門家・企業・市）による新商品の企画・開発、店舗改善等
- ・ブランドPR活動

H26年1月～3月

- ・『食の商談会in北九州』出展（1月）
- ・『YMFGビジネスマッチング』出展（2月）
- ・販路開拓支援
- ・特設PRサイト構築（3月末予定）



2014.1.27 食の商談会in北九州



2014.2.20 YMFGビジネスマッチング



I 地域企業が元気に活動し続ける環境整備



13

2 中小企業の競争力向上 (地元製品のブランド化②)

○主な取組状況



門司港から生まれた新たなデザインブランド

H25年5月

- ・新規2社（(有)村本建具製作所、染織工房シルクトーン）が加入

H25年6月

- ・『インテリア・ライフスタイル展 2013』出展

H26年2月

- ・ドイツ・フランクフルト「ambiente」出展

2013.6.5-7 インテリアライフスタイル展
2013



2014.2.7-11 ambiente



I 地域企業が元気に活動し続ける環境整備



14

2 中小企業の競争力向上（創業支援）

ビジネスプランコンテスト2013の開催

○H25年7月～9月

- ・「創業・ベンチャー」「第二創業」「学生ベンチャー」の3部門で公募

○H25年12月 受賞者決定（5社）

(合)Next Technology

投てき型撮影システム「ナゲトル」による空撮サービス

(株)フィールドサイエンス

光触媒を利用したステイン除去と沈着防止のデンタル・ホワイトニング事業

アイコンテンツ

タブレットを使った婚活イベントiコン事業

(株)PROM WEDDING

世界で初めて雲の上での結婚式“Airウェディング”

北九州市立大学（学生）

“モノ作り業界に新たな風を” 3Dプリント技術のC2C事業

受賞者と北橋市長



2 中小企業の競争力向上 (商業の活性化)

○主な取組状況

H25年11月

- ・北九州市商店街の活性化に関する条例を施行

- ・商店街空き店舗活用補助金の見直し

＜主な内容＞

補助対象経費を従来の家賃に加え、
店舗改装費まで拡大

商店街の活性化に関する条例の概要

○商店会や事業者、市などそれぞれの役割を明らかにすることで、商店街の活性化を図る。

○事業者は、商店会への加入、後継者の育成並びに創意工夫及び自助努力による経営基盤の強化に努める。

I 地域企業が元気に活動し続ける環境整備



16

3 地元製品・サービスの利活用の推進

地元製品「街かどショールーム」開催（H26年2月～）

○展示製品

(株)ケミカルクリエイト
エアー・ウォッシュ・フローリング

(有)小倉クリエーション
小倉織を使った製品

(株)シノハラ製作所
スライド式ソファベッド

シャボン玉石けん(株)
無添加石けん他

(株)タカギ
ダブル節水機能付シャワーヘッド他

楽しい(株)
バイオマスの新資源化システム

(有)ふく太郎本部
ふぐ業界初のH A C C P 認定工場

地元製品「街かどショールーム」



(株)北九州銀行本店営業部にて展示（H26年2月～3月）

4 地元企業の高度化・新製品開発支援

○主な取組状況

◆ひびきのLEDアプリケーション 創出協議会の事業化への取組

H25年10月 ベトナム 第2サイゴンブリッジ
道路灯照明受注:156台
(イー・アイ・エス(株))

H25年11月 若戸大橋ライトアップ
実証実験:12台
(イー・アイ・エス(株)、(株)春日工作所)

■ベトナム サイゴン 第二ブリッジ道路灯設置



道路灯外観

6 充実した物流基盤を活用した物流振興

○主な取組状況

H25年6月 キャリムエンジニアリング(株)
(国際RORO運航事業者)
クリーンルームの増設など
アジア向け輸出拠点の強化

H25年10月 内航フェリーセミナー開催
長距離フェリー3社の投入船舶
の大型化による輸送量の増強
(H27～: 8隻更新)

H26年1月 港湾セミナー開催

H26年2月 北九州港セミナー開催
在京の荷主・船社に対して
官民一体のトップセールス

キャリムエンジニアリング(株)



新門司フェリーターミナル



北九州港セミナー (東京)



Ⅱ ものづくりクラスターの形成



19

1 次世代自動車産業拠点の形成

○主な取組状況

- 次世代成長ビジネス支援セミナー
(H25年10月、東京)
- 超小型モビリティ導入(4台)
(H25年10月～)
- ・「門司港レトロ地区、観光レンタカー事業」
- ・「小倉南区、青色防犯パトロール・買物支援等試行事業」
- 次世代自動車勉強会(FCVセミナー)
(H26年3月)
- 民間賃貸工場への誘致促進
- 商用水素ステーション新設(1箇所)

推進体制

北部九州自動車産業アジア先進拠点 推進会議

会 長 福岡県知事
副会長 (株)デンソー北九州製作所
ユニプレス九州(株)
(株)ナミュニット

パーツネット北九州

会 長 (株)デンソー北九州製作所
副会長 三島光産(株)
松本工業(株)
石川金属工業(株)
監 事 (株)戸畑ターレット工作所

平成26年度に自動車メーカー
各社とともに次世代自動車産
業拠点化推進会議を設立予定

Ⅱ 高付加価値ものづくりクラスターの形成



20

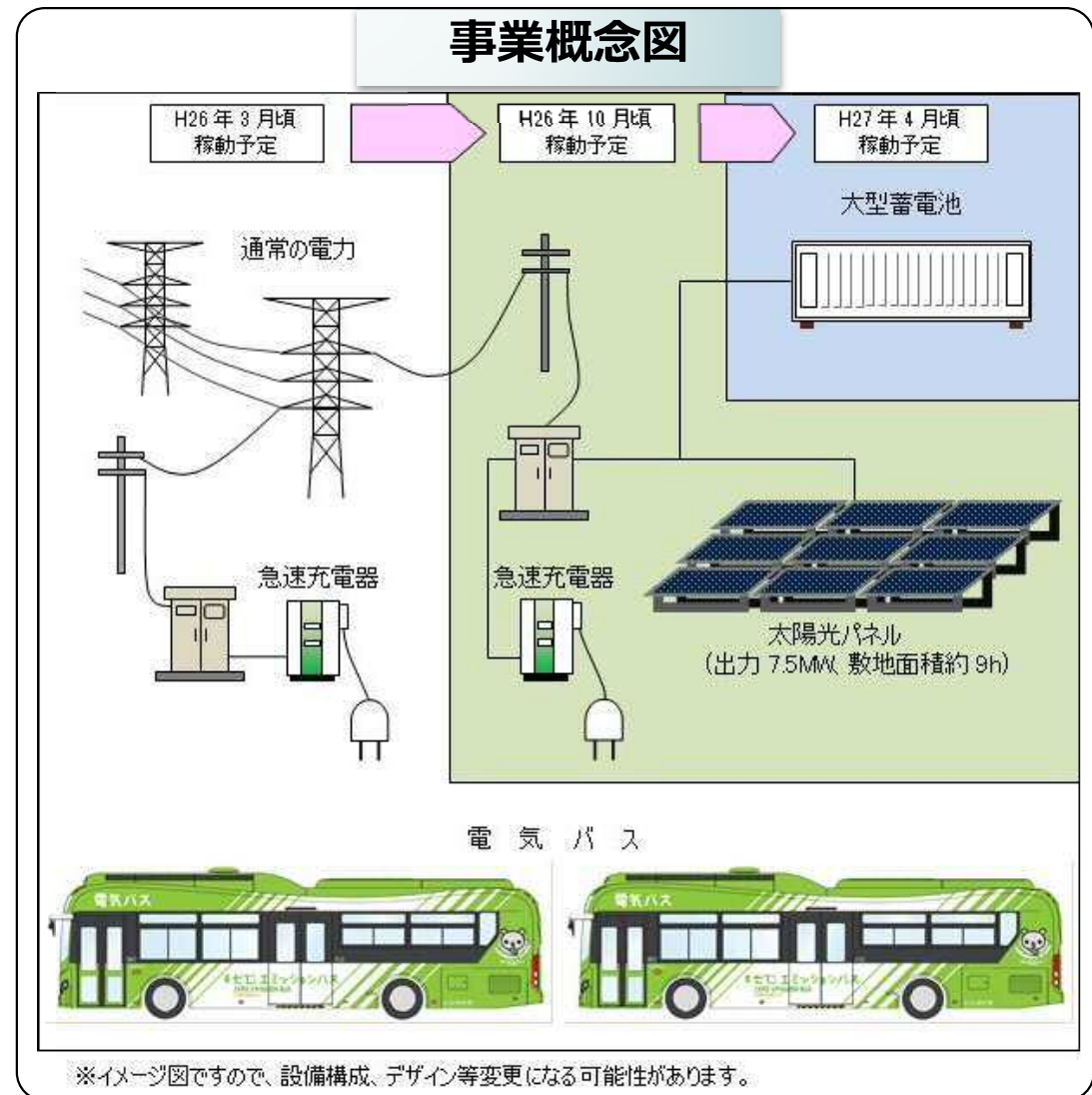
1 次世代自動車産業拠点の形成 (電気バス)

○ 主な取組状況

○ 「ゼロエミッション交通システム」発表
(H26年2月)

<スケジュール>

- ① H26年3月
電気バスの運行開始
- ② H26年10月
再生可能エネルギー（太陽
光発電）による運行開始
- ③ H27年4月
大型蓄電池の運用開始



2 我が国をリードするロボット産業拠点の形成 (民生用ロボットの開発支援)

○主な取組状況

H25年4月 連携大学院インテリ
ジエントカー・ロボ
ティクスコース開設

<事業の特徴>

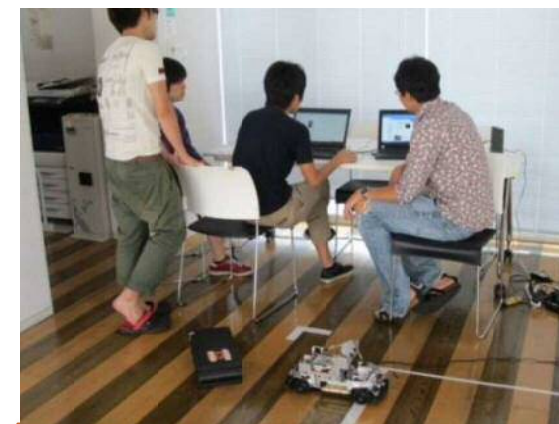
○自動車全般、ロボット技術を追加

<主な講座>

- ・ロボット工学概論
- ・移動ロボット制御総合実習
- ・@ホームロボット製作総合実習
- ・小型EV車自動運転制御総合実習

今年度履修生50名を迎え
順調にスタート

移動ロボット制御総合実習



小型EV車自動運転制御総合実習

Ⅱ ものづくりクラスターの形成



22

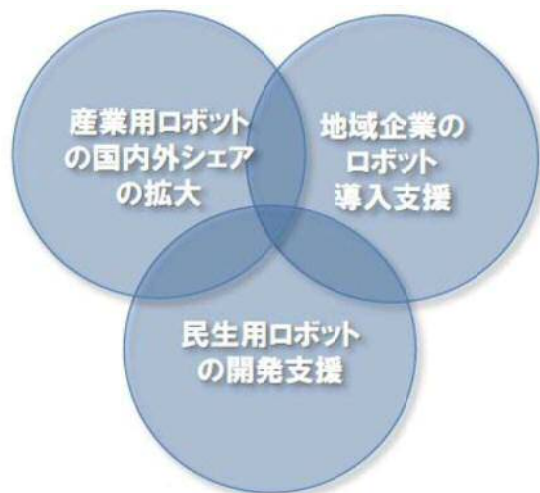
2 我が国をリードするロボット産業拠点の形成 (民生用ロボットの開発支援)

○主な取組状況

H25年8月（仮称）ロボット
産業振興プラン検討会議設置

H26年3月 北九州市ロボット
産業振興プラン策定

～ロボットと共存するまち・北九州～



北九州市ロボット産業振興プラン

目標達成に向けた重点施策

産業用ロボットの 国内外シェアの拡大	民生用ロボットの 開発支援	地域企業のロボット 導入支援
・産業用ロボット導入 支援センター運営 ・高齢化社会に対応 した地域企業競争力 強化支援事業	・介護・生活支援 ロボット導入促進 ・北九州市ロボッ ト大賞、ロボットコ ンテスト、（仮称） 「ロボット村」未来 館等との連携など PR強化	・産業用ロボット導入 支援センター運営 （再掲） ・中小企業向け製造 ロボット「Kロボット」 開発

2 我が国をリードするロボット産業拠点の形成

(民生用ロボットの開発支援)

○主な取組状況

◆地域企業による介護ロボットの開発・実証・事業化支援

○TOTO(株)「排泄支援介護ロボット」
平成25年度ロボット介護機器開発・導入促進事業(経済産業省)に採択

○リーフ(株)「歩行訓練ツール」
平成25年度福祉用具・介護ロボット
実用化支援事業(厚生労働省)に採択

<推進体制の整備>

H25年4月 九州工業大学が「社会
ロボット具現化センター」設立

H25年11月 「北九州市介護ロボット普
及推進会議」発足

TOTO(株)「排泄支援介護ロボット」



ベッドサイド水洗ト
イレとして製品化。

リーフ(株)「歩行訓練ツール」



脳血管障害による
片麻痺患者を対象
とした歩行訓練を
支援するロボットの
機能検証を実施。

Ⅱ ものづくりクラスターの形成



24

2 我が国をリードするロボット産業拠点の形成

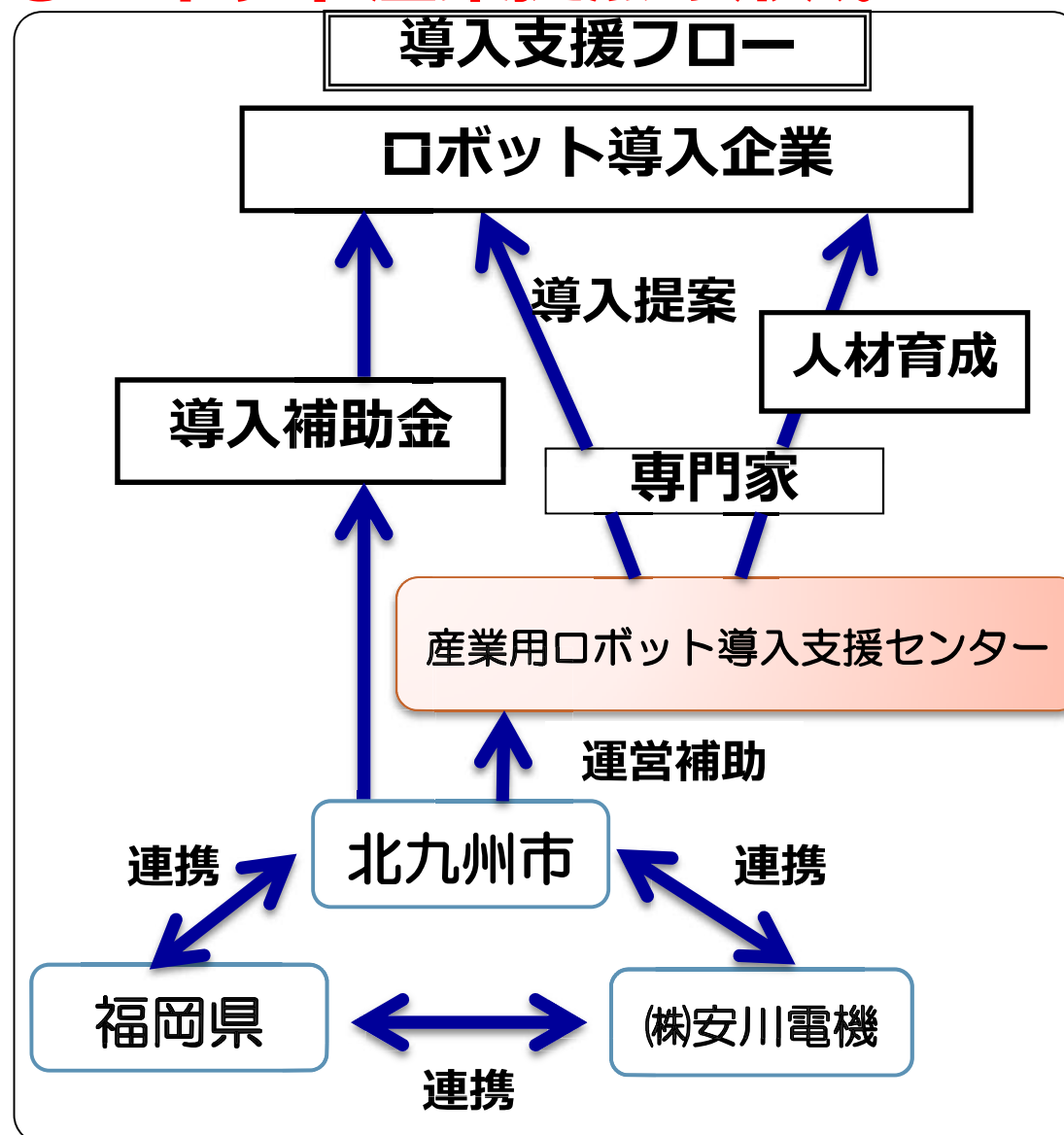
(産業用ロボット導入支援)

○主な取組状況

H25年10月 産業用ロボット
導入支援センター開設

<主な事業>

- 専門家による支援
- 人材育成（ロボット道場）
- 周辺装置の開発支援
- 産業用ロボット導入
補助金交付
 - ・(株)戸畑ターレット工作所
 - ・(株)陽和
 - ・八幡電機精工(株)



Ⅱ ものづくりクラスターの形成

3 豊富な実績等を活かした環境産業拠点の形成

○主な取組状況

H25年8月 小型電子機器等回収事業開始
(認定事業者：日本磁力選鉱)

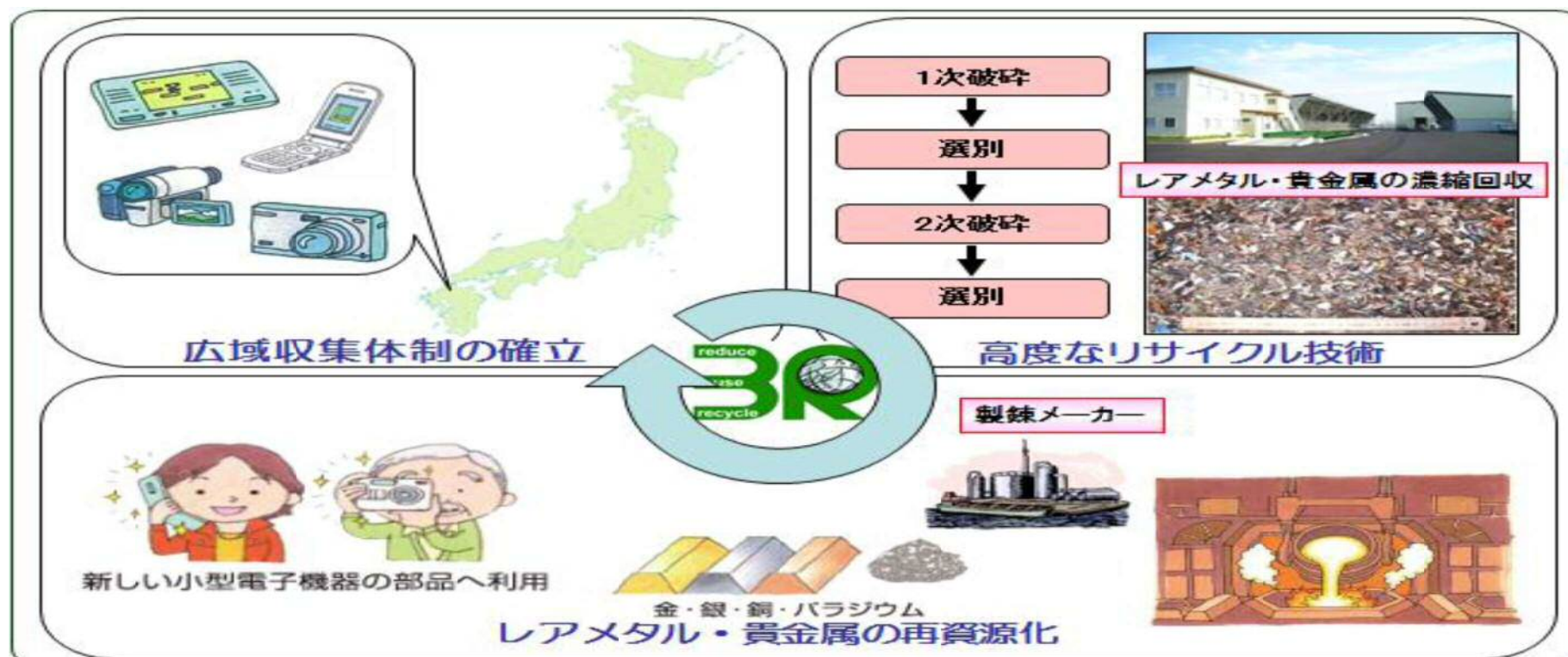
※市内65ヶ所に回収ボックス設置 (スーパー、区役所等)

＜回収方法及び予定回収量＞

○BOX回収 (4トン)

○ピックアップ回収 (70トン)

※貴重な貴金属・レアメタルを回収



1 高齢者を中心とした健康・生活支援ビジネスの推進

(地域協働による買い物支援の推進)

○主な取組状況

H25年8月 基礎調査結果の公表

買い物環境マップなど、市内の買い物環境についての分析結果を公表

○モデル地区での検討（7か所）

住民参加によるワークショップやアンケートを実施、地域活動計画を検討

H25年11月 意見交換会の開催

買い物支援に取り組む事業者、地域代表など100名以上が参加

H26年2月 買い物応援
ネットワーク会議を設置

買い物環境マップ



ワークショップ



買い物応援ネットワーク会議



2 にぎわいづくりによる 集客交流産業の拡充

(産業観光、歴史的資産、環境観光資源等を活用した集客)

○主な取組状況

H25年4～10月 産業観光ガイド
・工場夜景ナビゲーターを養成

H25年11月 全国工場夜景
サミット開催

H25年11月～ 北九州アイアン
ツリー点灯 (新日鐵住金(株))

産業観光ガイド・工場夜景ナビゲーター 養成講座



全国工場夜景サミットin北九州



北九州アイアンツリー



2 にぎわいづくりによる 集客交流産業の拡充

(産業観光、歴史的資産、環境観光資源等を活用した集客)

○主な取組状況

平成25年11月23日～
平成26年2月23日

夜景評論家・丸々もとお氏
プロデュースによる
「門司港レトロ浪漫灯彩」

レトロ+ロマンの2大演出

レトロを極めた
ツリーイルミ
ネーション



史上初

最新技術で実現
からくりフォト
スポット



Ⅲ 国内潜在需要に対応したサービス産業の振興



29

2 にぎわいづくりによる 集客交流産業の拡充

北九州マラソン2014「未来へ、かける。」

- ・ 平成26年2月9日開催
- ・ 約1万人がフルマラソン参加



市制50周年記念事業
フィナーレイベント

3種目合計
11,194人の参加

沿道応援者
約28万人

ボランティア
約4,700人

(写真提供: 北九州マラソン実行委員会)



2 にぎわいづくりによる 集客交流産業の拡充 (リノベーションまちづくり)

○主な取組状況

H25年8月 第5回リノベーションスクール@北九州の開催（受講者数44人）

◆提案内容

- 女性士業が集積するシェアオフィス（小池ビル）
- DIYができる北九州発のシェアハウス（第二喜久田ビル）
- ホテルとバルを併設した複合施設（ナカノテツ）
- 女性向けものづくりカフェ、物販テナント（百万両ビル）

H26年3月 第6回リノベーションスクール@北九州の開催（受講者数103人）

第5回リノベーションスクール@北九州



（一社）リノベーションまちづくりセンター

リノベーション及びリノベーションまちづくりに関する

- ①調査・研究事業
- ②人材育成・教育事業
- ③文献・資料等情報収集事業
- ④社会的普及・啓発及び交流事業 などを行う。

2 にぎわいづくりによる 集客交流産業の拡充 (地元産品の6次産業化の推進)

○主な取組状況

H25年10月 シンポジウム開催
生産者の6次産業化への機運醸成

H25年11月 商談会への共同出展
「北九州ブース」に7団体が出展
活発な商談が行われ、成約に繋がる

H25年11月 学校給食のメニューへ
藍島の漁業者グループが製造する
「塩蔵わかめ」が学校給食に採用

H26年3月 6次産業化実践研修会
in北九州開催

6次産業化シンポジウム



食の展示商談会in熊本



6次産品が学校給食のメニューへ



わかめスープ

3 サービス産業の高付加価値化の推進及び情報通信産業の集積

26年3月 日本最大級のインキュベーションスペース
『fabbit（ファビット）』小倉駅新幹線口にオープン

○コンセプト

学ぶ	デジタルハリウッドSTUDIO、ライブラリー
集う	セミナースペース、カフェスペース、会議室
創る	3Dファブリケーション関連設備、シェアオフィス



○主な取組内容と効果

- スタートアップしやすい環境の整備
 - ・ワークショップ、起業家育成セミナー等実施
 - ・新産業創出のベースとなる新たなコミュニティ形成
 - ・事業化を支える投資スキーム
- 中小企業の研究開発力の向上
- 小倉駅新幹線口の賑わいづくり



3 サービス産業の高付加価値化の推進及び情報通信産業の集積

○主な取組状況

H25年7月 地域密着型就職
情報サイトの運用「キタナビ」

H25年11月 訪問介護ヘルパー
支援システムの開発・実証
すまーと へるぱー
「すま～人ヘルパー」

【導入事業所】
市内介護事業所：1ヶ所
※タブレット端末
約40台導入

訪問介護ヘルパー支援システム

すまーと へるぱー

「すま～人ヘルパー」

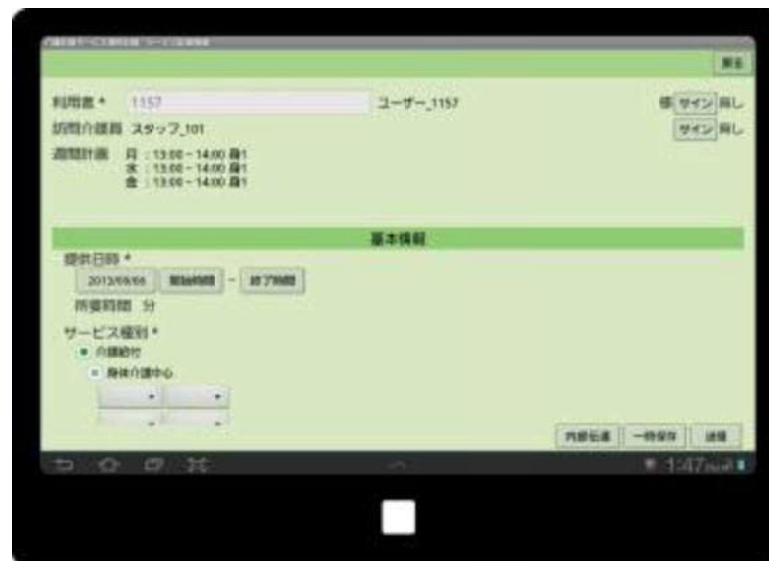
【開発】

ヒューマンメディア財団・(株)インフォメックス

【システム内容】

タブレット端末を使った業務支援システム

- ①サービス記録の電子化
- ②本部との情報交換
- ③業務スケジュール管理



1 アジアに貢献する都市インフラビジネスの展開

■平成25年度実施の主なプロジェクト

環境

- インドネシア・スラバヤ市における廃棄物のリサイクル型中間処理
・堆肥化事業実施！（西原商事(株)）
- マレーシア・イスカンダル等における節水機器普及によるJCM（二国間クレジット制度）大規模形成のための環境整備事業（TOTO(株)）

海外水ビジネス

- ベトナム・ハイフォン市に本市の高度浄水処理 (U-BCF) が整備決定
- カンボジア国コンポンチャム・バタンバン上水道拡張計画受注

■今後の展開について

北九州市が培った都市環境インフラにおけるノウハウや技術などを取りまとめた「北九州モデル」を作成。

本モデルを活用して、パッケージ型インフラの輸出を推進。

～NHKスペシャルで北九州の都市環境インフラビジネスを全国発信～

Ⅳ グローバル需要を取り込む海外ビジネス拠点の形成



35

3 北九州発ブランドの海外ビジネス支援

○主な取組状況

H25年4月 北九州市中小企業海外展開支援助成制度の拡充

- ・市場調査等助成事業（新規）
- ・海外見本市等出展助成事業
- ・海外展開拠点設置助成事業（新規）

H25年6月 アジアキャラバン事業上海商談会へ2社が参加

- ・6月 上海商談会
- ・8月 北京商談会
- ・11月 台北商談会

H25年7月 日本貿易振興機構（ジェトロ）との連携協定締結

H25年10月 香港食品商談会へ地元企業15社が参加

H26年3月 食品関連アジア市場展開セミナー開催



ジェトロとの連携協定締結式



アジアキャラバン・台北商談会

2 再生可能・基幹 エネルギー創出拠点

○主な取組状況

H25年8月 地域エネルギー
推進会議による検討開始

○短期目標

中規模火力 30万kW
洋上風力 50万kW
合計80万kW程度を想定

○高効率大規模火力発電も、
オール九州に貢献しうる
ポテンシャルを踏まえ、
検討を進める。

<検討体制>

地域エネルギー推進会議
(座長：中上英俊)

- 事業スキームの検討
- 地域エネルギーマネジメン
トシステムの仕組み検討 等

WG

火力部会

洋上風力部会

- 立地可能性調査
- 事業性調査
- 法規制等に対する検討 等

V 地域エネルギー拠点の形成

2 再生可能・基幹 エネルギー創出拠点 (風力発電産業の集積)

○主な取組状況

H25年5月 響灘地区への風力
発電関連産業の集積を目的とした
公募を実施

＜公募内容＞

①風力発電「実証・研究拠点」の
形成

②風力発電関連産業の集積

H25年7月 3グループを選定

風車実証研究ゾーン

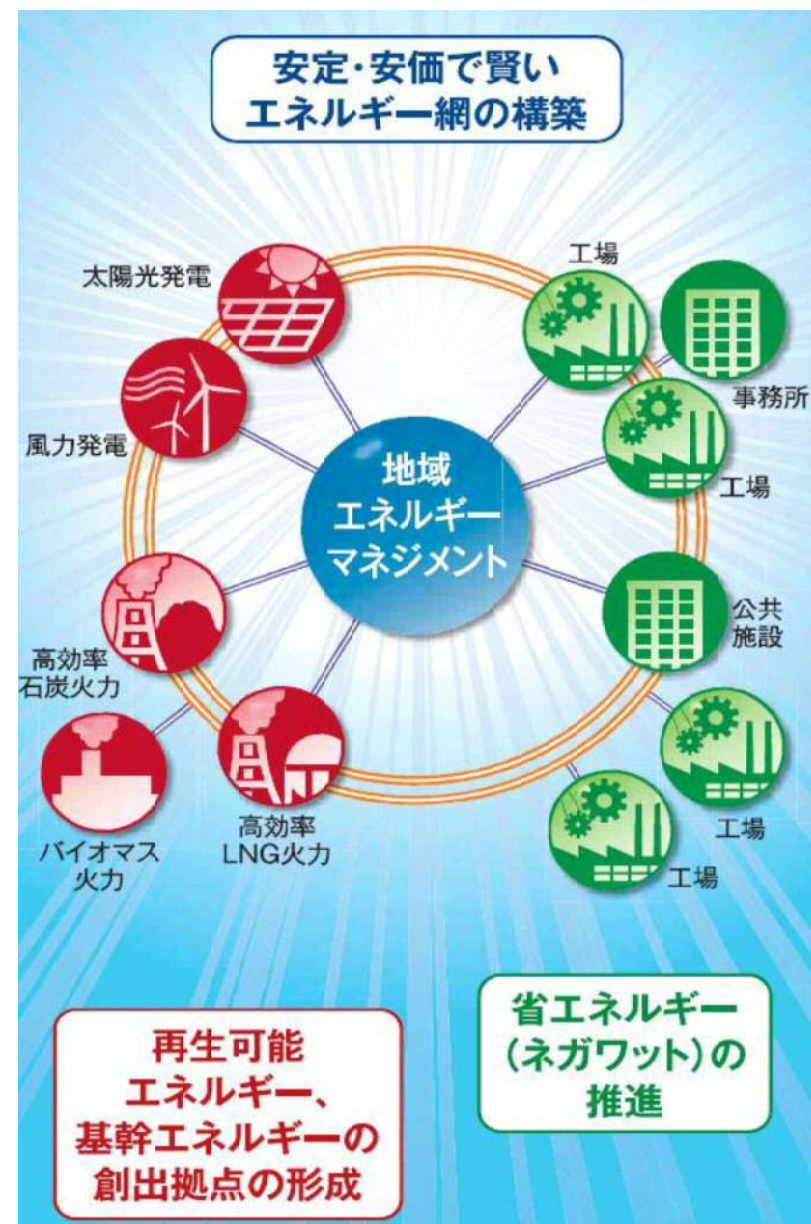


V 地域エネルギー拠点の形成

1 省エネルギー （ネガワット）の推進 3 安定・安価で賢い エネルギー網の構築

○主な取組状況

- 低炭素・安定・安価なエネルギーを地域に供給するため、その仕組みの構築に向け、スピード感を持って検討中。



北九州市新成長戦略の概要

策定の背景等

本市を取り巻く社会経済情勢

- ◇歴史的円高による日本経済への影響
- ◇少子高齢化と人口減社会の進行
- ◇東日本大震災の発生とエネルギー問題
- ◇サービス産業の位置づけの高まり
- ◇情報社会・知識経済社会の進展
- ◇アジアの成長と経済のグローバル化
- ◇グリーン・イノベーションへの期待の高まり

本市のポテンシャル（優位性）

- ◇ものづくり産業の集積
- ◇充実した都市・産業基盤
- ◇学術研究都市などの知の集積
- ◇エコタウンと環境産業・技術の蓄積
- ◇国際戦略総合特区・環境未来都市のW 選定
- ◇豊富な実証フィールド
- ◇新たな施設が集積する小倉・黒崎地区
- ◇アジア諸都市とのネットワーク

本市の産業・雇用の課題

- ◇地域製造業の競争力強化
- ◇人材の確保（学生の地元就職の推進）
- ◇ものづくり現場での人材不足解消
- ◇中心市街地の活性化とサービス産業の集積強化
- ◇雇用の更なる改善
- ◇所得水準の低さ

産業雇用戦略の取組み成果

新たな雇用創出

目標：1 万人（H20～24 年度）
実績：7,321 人（H20～23 年度）

市民所得の向上

目標：5%程度向上（H24 年度時点）
実績：▲5.18%（H23 年度）

市内総生産（名目）

目標：4 兆円（H32 年度時点）
実績：3 兆4 6 7 0 億円（H21 年度）

5つの方向性とリーディングプロジェクト

方向性Ⅰ 地域企業が元気に活動し続ける環境整備

- ◎地域企業のビジネス展開を推進する組織横断的な体制の整備
- ◎中小企業の競争力向上
 - 中小企業の経営支援
 - 地域商業の活性化
 - ベンチャー企業の創出・育成
- ◎地元製品・サービスの利活用の推進
- ◎地元企業の高度化・新製品開発支援
 - 研究開発・事業化支援
 - 学術・研究基盤の推進
- ◎地域活性化のための人材育成の強化
- ◎充実した物流基盤を活用した物流振興

方向性Ⅱ 高付加価値ものづくりクラスターの形成

- ◎次世代自動車産業拠点の形成
 - 次世代自動車（EV、FCV、電気バス等）の工場立地
 - 環境配慮型部品の供給基地の形成
 - 北部九州自動車150万台先進生産拠点推進構想の推進
- ◎我が国をリードするロボット産業拠点の形成
 - 産業用ロボットの国内外シェアの拡大
 - 民生用ロボットの開発支援
 - 地域企業のロボット導入支援
- ◎豊富な実績等を活かした環境産業拠点の形成
 - 次世代資源循環型産業拠点の形成
 - 環境配慮型製品・環境関連サービスの集積
- ＜その他の主要施策＞
 - 素材・部材産業
 - 航空機産業
 - 立地環境の整備

方向性Ⅲ 国内潜在需要に対応したサービス産業の振興

- ◎高齢者を中心とした健康・生活支援ビジネスの推進
 - 高齢者の健康増進・長寿産業の振興
 - 生活の質を支える生活支援ビジネスの振興
- ◎にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充
 - 産業観光、歴史的資産、環境観光資源等を活用した集客促進
 - 街なかのにぎわいづくり及び中心市街地活性化
 - 空き家を活用したビジネスモデルの構築
 - 地元産品の6次産業化の推進
- ◎サービス産業の高付加価値化の推進及び情報通信産業の集積
 - サービス産業の集積促進及び高付加価値化の推進
 - 北九州の特性を活かした情報通信関連産業拠点の形成
 - 情報コンテンツ産業及び情報サービス産業の創出・育成
- ＜その他の主要施策＞
 - サービス産業に対する総合的な支援
 - 農林水産業の生産基盤の整備や担い手の育成
 - 北九州空港を核とした集客・航空関連産業の充実

方向性Ⅳ グローバル需要を取り込む海外ビジネス拠点の形成

- ◎アジアに貢献する都市インフラビジネスの展開
 - アジア低炭素化センターを核とした都市インフラビジネスの推進
- ◎海外工場のサポート拠点の形成
 - 市内工場のマザー工場化の推進
 - 海外工場のサポート拠点化の推進
- ◎北九州発ブランドの海外ビジネス支援
 - 中小製造業の海外ビジネス支援
 - 飲食、小売、サービス業の海外ビジネス支援
- ＜その他の主要施策＞
 - ブリッジ人材の育成・確保
 - 海外とのネットワークの強化
 - 海外ビジネスをしやすい環境の整備

方向性Ⅴ 地域エネルギー拠点の形成

- ◎省エネルギー（ネガワット）の推進
 - 省エネ施策の推進
 - スマートコミュニティのビジネス化
 - 市域全体へのスマート化の促進
 - 省エネルギー、スマートコミュニティの国内、海外ビジネス展開
- ◎再生可能エネルギー・基幹エネルギーの創出拠点の形成
 - 再生可能エネルギーの立地促進
 - 基幹エネルギーの立地促進
 - 再生可能エネルギー産業の拠点化推進
 - 再生可能エネルギーの普及支援
- ◎安定・安価で賢いエネルギー網の構築
 - 安心して産業活動ができるようなエネルギー基盤の創出
 - 最先端の産業コンビナートの構築
 - 広域貢献するエネルギー網の環境整備

雇用創出に向けて

- 若者や女性、高齢者、障害者が働きやすい環境整備
- 求職者の年代や経験、能力等に応じた就業に必要な能力の向上や、スキル取得への支援や就労体験を盛り込んだマッチング
- ＜雇用機会の創出＞
 - ・付加価値の高い産業の振興により、質の高い雇用を創出すること
 - ・雇用吸収力の高い産業の振興により、多くの雇用を創出すること
 - ・市民の個々の生活スタイルに合わせた多様な雇用機会を創出すること

推進体制

- 組織横断的な体制による推進。民間の知恵も積極的に取り入れなど

目標像

新たな技術と豊かな生活を創り出すアジアの先端産業都市

成果目標

・新たな雇用創出	・市民所得	・市内総生産
8000人（'27年度）	政令市中位（'32年度）	4兆円（'32年度）